

は ち ろ う が た

八郎潟

広報

平成20年

4月

No.574



たびだち
期待を胸に新たな出発





■一般会計歳出予算の内訳

項目	予算額 (千円)	構成比 (%)	対前年度	
			増減額 (千円)	伸率 (%)
議会費	66,696	2.6	3,153	5.0
総務費	290,693	11.4	2,529	0.9
民生費	542,188	21.3	27,140	5.3
衛生費	491,707	19.3	110,189	28.9
農林水産業費	96,345	3.8	△ 431	△ 0.4
商工費	26,259	1.0	618	2.4
土木費	220,311	8.6	8,675	4.1
消防費	152,195	6.0	△ 105,771	△ 41.0
教育費	224,495	8.8	△ 67,038	△ 23.0
公債費	437,957	17.2	△ 45,456	△ 9.4
その他	2,056	0.1	0	0.0
合計	2,550,902	100.0	△ 66,392	△ 2.5

■一般会計歳入予算の内訳

科目	区分	予算額 (千円)	構成比 (%)	対前年度	
				増減額 (千円)	増減率 (%)
自主財源	町税	509,121	20.0	△ 2,909	△ 0.6
自主財源	線入金	70,002	2.7	△ 130,000	△ 65.0
自主財源	使用料及び手数料	55,393	2.2	△ 3,760	△ 6.4
自主財源	分担金及び負担金	20,260	0.8	1,175	6.2
自主財源	財産収入	3,506	0.1	149	4.4
自主財源	諸収入	34,826	1.4	3,787	12.2
自主財源	繰越金	3,188	0.1	△ 28,627	△ 90.0
自主財源	寄附金	2	0.0	0	0.0
依存財源	計	696,298	27.3	△ 160,185	△ 18.7
依存財源	地方譲与税	27,000	1.1	0	0.0
依存財源	利子割交付金	1,800	0.1	△ 700	△ 28.0
依存財源	配当割交付金	800	0.0	400	100.0
依存財源	株式等譲渡所得割交付金	250	0.0	△ 250	△ 50.0
依存財源	地方消費税交付金	60,000	2.4	△ 2,000	△ 3.2
依存財源	自動車取得税交付金	8,000	0.3	△ 500	△ 5.9
依存財源	地方特例交付金	2,001	0.1	0	0.0
依存財源	地方交付税(普通)	1,070,000	41.9	50,000	4.9
依存財源	交付税(特別)	105,000	4.1	0	0.0
依存財源	交通安全対策特別交付金	700	0.0	△ 200	△ 22.2
依存財源	国庫支出金	100,208	3.9	△ 4,282	△ 4.1
依存財源	県支出金	139,245	5.5	△ 15,075	△ 9.8
依存財源	町債(臨時財政対策債)	120,000	4.7	△ 7,000	△ 5.5
依存財源	町債(その他の町債)	219,600	8.6	73,400	50.2
依存財源	計	1,854,604	72.7	93,793	5.3
合計		2,550,902	100.0	△ 66,392	△ 2.5

■一般会計歳出性質別経費の状況

区分	予算額 (千円)	構成比 (%)	対前年度	
			増減額 (千円)	増減率 (%)
義務的経費	1,257,215	49.3	△ 45,762	△ 3.5
人件費	533,237	20.9	△ 18,589	△ 3.4
扶助費	286,021	11.2	18,283	6.8
公債費	437,957	17.2	△ 45,456	△ 9.4
物件費	330,020	12.9	△ 38,838	△ 10.5
維持補修費	11,271	0.4	△ 5,494	△ 32.8
補助費等	396,826	15.6	△ 39,848	△ 9.1
うち一部事務組合分	218,917	8.6	△ 58,026	△ 21.0
繰出金	309,944	12.2	△ 34,039	△ 9.9
積立金	68	0.0	△ 12	△ 15.0
投資及び出資金	197,700	7.8	197,700	皆増
貸付金	18,500	0.7	0	0.0
投資的経費	27,358	1.1	△ 100,099	△ 78.5
普通建設事業費	27,355	1.1	△ 100,099	△ 78.5
補助事業費	0	0.0	0	皆減
単独事業費	27,355	1.1	△ 100,099	△ 78.5
災害復旧事業費	3	0.0	0	0.0
失業対策事業費	0	0.0	0	0.0
予備費	2,000	0.1	0	0.0
合計	2,550,902	100	△ 66,392	△ 2.5

■特別会計と企業会計予算

特別会計	
会計別	予算額
国民健康保険特別会計	7億7,584万7千円
老人保健(医療)特別会計	7,539万7千円
後期高齢者医療特別会計	6,129万1千円
公共下水道事業特別会計	3億6,806万9千円
農業集落排水事業特別会計	2,968万5千円
介護保険特別会計(保険事業勘定)	5億6,105万7千円
(介護サービス事業勘定)	200万円
企業会計	
会計別	予算額
上水道事業・収益的収入	1億4,680万6千円
・収益的支出	1億3,780万5千円
・資本的収入	4億9,980万1千円
・資本的支出	5億4,561万3千円

八郎潟町議会3月定例会

後期高齢者医療に関する条例、 補正予算、新年度予算等を可決

八郎潟町議会3月定例会は、3月4日から14日までの11日間開催され、条例制定、改正及び廃止関係10議案、平成19年度補正予算案関係9議案、平成20年度当初予算案関係10議案、人事案件など合わせて32議案が可決、同意されましたが、2議案を取り下げしました。

平成20年度施政方針

平成20年度は、町長として2期目の最終年度となります。町長として平成12年9月に初就任、そして、平成16年9月には町民の皆様の支援を頂き再選、町長としてふたたび町政を担当させていただきました。

省みれば1期目は、国が平成11年に、平成16年度までの時限立法として市町村合併特例法が改正され、南秋地区でこの合併に取組み、15年4月には五城目町・井川町・八郎潟町の3町の枠組みによる合併を進めてまいりました。

2期目に入り、引き続き合併を推進し、17年度の合併をめざしておりましたがこれが頓挫し、17年2月には合併協議会を解散し、八郎潟町は自立をめざすことになった次第であります。

平成17年4月には、今後10年

間、平成26年度までの「八郎潟町自立計画」を策定、議会・町民に報告、さらに検討を加えるなどして、県に自立計画書を提出、平成18年11月、県より今後の状況の変化を加味しながら必要部分は継続的に見直しを行うよう助言を頂いております。これをもとに平成18年度、19年度、町民座談会を開催し、自立町として町の状況・考え方を報告、町民の理解を頂きながらも、意見、要望等の把握に努めてきたところであります。

この様な状況の中で、平成18年4月「人・環境・文化のきらめくまち八郎潟」を指すまちづくりを基本理念として、「八郎潟町総合振興第5次基本構想」を策定、10力年を計画期間とし、前期計画を平成22年度の5力年間、さらに、後期計画を23年度から27年度までの5力年間の施策・重点事業を策定してまいりました。

さて、最近の我が国の状況をみてみますと大都市と地方の格差の解消が重要な政策課題の一つとなっております。地方の元気は日本の活力の源と国は平成19年11月「地方再生戦略」を取りまとめ、地方の創意工夫を活かした自主的な取組みを、政府一体となつて強力に後押しし、地方都市と周辺地域を含む圏域ごとに生活に必要な機能を確保し、人口の流出を食い止める方策を進めるとしています。

本県においては、平成20年度において行財政改革の一環として、全事業、補助金をゼロベースで見直しており、市町村に与える影響は多大なものとおもわれます。また、県は今国会の焦点となつている道路特定財源制度の維持を前提として各種施策・事業の実施を図るため予算計上しております。

この道路特定財源の暫定税率維持については、この1月30日に全国町村会定期総会において、現在、町村の道路整備については、道路特定財源だけでは賄えず多額の一般財源をつぎ込まざるを得ない実情、また、極

めて厳しい状況にある市町村の財政運営に重大な影響を与え、教育や福祉はもとより他の行政サービスにも影響し、住民生活に大きな支障が生ずる事態となることから、適用期限を延長し、平成20年度以降も現行の税率水準が維持されるよう強く要望をしております。これらも当初予算に計上しております。

「地方再生対策費」であります。これまでの構造改革を進める中で地方と都市の地域間格差の問題が生じていることを深刻に受け止め、当面する重要課題として、地方の自主的・主体的な活性化施策に必要な特別枠4千億円を地方交付税を通じて、特に財政の厳しい地域に重点的に配分、予算編成するよう、2008年度政府予算案に地方対策の目玉として盛り込まれたものであります。

国が公表した試算額により、本町では4千万円を見込み計上しており、町の財政難のおり貴重な財源として大変喜ばしいこととであります。

さらに、「ふるさと納税」制度が平成21年度からの導入が明記され、ふるさとに対し貢献したいは応援したいという納税者の思いを実現する観点から住民税における寄付金税制の拡充をおこなうもので、地方公共団体に對する寄付金のうち適用下限額

5千円を超える部分については、一定限度まで所得税と合わせてその全額を控除するもので、今後法案の成立後には、本町の歳入を増やすために寄付金の受け入れを積極的に推進してまいりたい所存であります。

これらの状況を踏まえ、平成20年度における町政運営の重点施策として、特に水道水の水质改善を図る、19年度の継続事業であります、上水道の高度浄水処理施設整備事業・町営墓地公園整備事業の完成を目指します。また、これまでの継続事業はその計画を推進してまいります。

予算規模といたしましては、平成20年度一般会計は、25億5,090万2千円で、前年度26億1,729万4千円と比較して2・5%の減となっております。この時代の変革期を生き抜くため、厳しい財政状況ではあります。第5次基本構想の基本理念に基づき、「人・環境・文化のきらめくまち八郎潟」を創りあげていきたいと考えております。

石川理紀之助の言葉で「井戸を掘るなら、水が湧くまで掘れ」、どんな時も決してあきらめることなく、結果を出すまで努力することの大切さを伝える教えでもあり、私も、町民と行政・町が一体になって、本町のさらなる発展のために尽力をするものであります。

八郎潟町議会 3月定例会で議決された議案

- ・八郎潟町後期高齢者医療に関する条例を制定する条例
- ・八郎潟町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例
- ・八郎潟町国民健康保険条例の一部を改正する条例
- ・八郎潟町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- ・八郎潟町介護保険条例の一部を改正する条例
- ・八郎潟町営住宅条例の一部を改正する条例
- ・八郎潟町水泳プール条例を廃止する条例
- ・八郎湖周辺清掃事務組合規約の一部変更
- ・大潟地区衛生処理組合の解散について
- ・大潟地区衛生処理組合の解散に伴う財産処分について
- ・平成19年度八郎潟町一般会計補正予算(第10号)
- ・平成19年度八郎潟町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)
- ・平成19年度八郎潟町水道特別会計補正予算(第7号)
- ・平成19年度八郎潟町老人保健(医療)特別会計補正予算(第3号)
- ・平成19年度八郎潟町公共下水道事業特別会計への繰り入れの補正
- ・平成19年度八郎潟町公共下水道事業特別会計補正予算(第5号)
- ・平成19年度八郎潟町農業集落排水事業特別会計への繰り入れの補正
- ・平成19年度八郎潟町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)
- ・平成19年度八郎潟町介護保険特別会計補正予算(第4号)
- ・平成20年度八郎潟町一般会計予算
- ・平成20年度八郎潟町国民健康保険特別会計予算
- ・平成20年度八郎潟町水道特別会計予算
- ・平成20年度八郎潟町老人保健(医療)特別会計予算
- ・平成20年度八郎潟町後期高齢者医療特別会計予算
- ・平成20年度八郎潟町公共下水道事業特別会計への繰り入れ
- ・平成20年度八郎潟町公共下水道事業特別会計予算
- ・平成20年度八郎潟町農業集落排水事業特別会計への繰り入れ
- ・平成20年度八郎潟町農業集落排水事業特別会計予算
- ・平成20年度八郎潟町介護保険特別会計予算
- ・八郎潟町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- ・人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
- ・町道路線の廃止について
- ・町道路線の認定について

取り下げした議案

- ・町道路線の廃止について
- ・町道路線の認定について

水道料金、下水道料金の過誤徴収について(お詫び)

3月4日、過誤徴収された方が金融機関で通帳の記載確認をしたところ、水道料金の引き落とし金額が多額であることから役場水道課に問い合わせをし、初めて分かったもので、過誤徴収の原因は町の検針員が検針したデータを上水道職員が誤って電算システムへ入力したものです。また、請求書作成後のチェック確認を行っていませんでした。

データ入力ミスがあったのは、昨年5月、6月、7月、8月分で金額は、水道料金230万5,840円、下水道料金155万7千218円合わせて386万7千802円です。事故判明後、直ちに担当職員らは本人と面接し、事の次第を詳しく説明、当方の電算入力ミスと、確認を怠ったことから起きたことであることを説明し、心からお詫びし、過誤徴収における水道料金及び下水道料金は、早急に全額を還付しました。町民の皆様には、ご迷惑をおかけしたことを深くお詫びいたします。

八郎潟町議会第3回臨時会

高度浄水処理施設整備工事を賛成少数で否決

3月25日、八郎潟町議会第3回臨時会が開催され、本町で進めている高度浄水処理施設整備工事の請負契約について協議されましたが、起立採決の結果、賛成少数(賛成1、反対8、欠席2、議長除く)で否決されました。

3月18日の指名競争入札では、12社を指名しましたが、9社が施設設備の特殊性から入札を辞退し、3社のうち仙台市の水道機工株式会社東北支社が4億5,864万円で落札しておりました。

今年度はアオコが発生する7月下旬頃まで高度浄水処理施設の建設を終えて水の安定供給をするため、町では昨年の9月末に国へ補助金申請を行い、12月定例会で平成19年度、20年度の2力年の予算を計上し、継続事業として進めてきましたが、事務作業の遅れから、3月上旬の時点では当初計画よりも工事期間が約1カ月延び完成は8月29日の予定となっておりますが、このたびの否決によりこの事業が白紙の状況になり、町では夏に向け今後新たなアオコ対策の検討が必要となりました。

このほか、3月定例会でも報告した上水道料金及び下水道料金の過誤徴収について、町の最高責任者としての自らの責任を重く受け止めて、町長及び副町長の給与の減額を求める条例を提案しましたが、賛成少数で否決されました。

教育委員に新任の須田秀温さんを選任



須田 秀温さん

- ▼昭和19年5月30日生まれ。
- ▼住所…八郎潟町夜叉袋字大嶋田1番地1(略歴)
- ▼平成10年常磐中学校校長
- ▼平成12年八郎潟中学校校長
- ▼平成16年秋田県中学校校長会副会長
- ▼平成17年7月人権擁護委員(現在に至る)

八郎潟町3月定例会において、任期満了(3月18日)に伴い教育委員会委員について、同意を求める議案が提出され、新任の須田秀温さんが選任されました。須田さんの任期は、3月19日から4年間です。また、3月19日開催された教育委員会では須田秀温さんが委員長に選任されました。

4月1日より

八郎潟幼稚園長に江島 廣さんが就任

平成17年4月より野村勇一教育長が八郎潟幼稚園長を兼務しておりましたが、このたび新園長に江島 廣さんが就任しました。

江島さんは、3月まで八郎潟中学校で校長として活躍されておりました。教員経験を生かし、今後の幼児教育行政の推進にご尽力をよろしく願います。

北嶋雄一さん公民館長を退任

北嶋雄一さんは、平成11年4月から通算8年9カ月にわたり、町公民館長として尽力いただきましたが、3月31日をもって退任されました。長い間大変お疲れさまでした。

4月1日からの公民館長は、野村勇一教育長が兼務となります。

八郎潟町行政改革懇談会

平成19年度から23年度の 行革大綱プラン承認



八郎潟町行政改革懇談会が、平成19年12月18日、平成20年2月21日の2回にわたり八郎潟町役場において開催されました。

懇談会の委員は7名で、会長に大高博さんを選任し、審議が行われ、新八郎潟町行政改革大綱が承認されました。同懇談会における行革大綱プランは平成19年度から平成23年度まで計画されており、今後、行財政運営や行政組織の見直し、町民サービスの向上や簡

素で効率的な行政機構の確立を図り可能な限り町民ニーズに対応したものにすることを懇談会を計画的に行う予定にしております。

八郎潟町行政改革 懇談会委員名簿

大高 博 (真坂)	小川 文子 (川崎)	江畑斗志郎 (大道)	館岡 晴希 (大道)	村井 イチ (夜叉袋)	柳田 裕平 (一日市)	草薨 紀久 (中嶋)
-----------	------------	------------	------------	-------------	-------------	------------

八郎潟町特別職報酬等審議会が答申

町長等の給料、議会議員の報酬額現状どおり

2月14日に八郎潟町役場で八郎潟町特別職報酬等審議会(会長 島山誠夫 委員5人)が開催され、同審議会より2月20日に土橋町長に答申書が提出されました。審議会は、2年に一度開催されております。

内容は、本町の町長等の給料額及び議会議員の報酬額について審議され、検討結果、本町の場合いづれも県内町村の低位に位置づけられていることから、給料額、報酬額とも現状どおりとする答申が出されました。

なお、答申では現下の社会情勢あるいは町財政の厳しさ今後の他町村の状況など様々な観点から意見が出されております。

町長等の給料の額(月額)

町長	630,000円
副町長	503,000円
教育長	486,000円

議会議員等の報酬(月額)

議長	242,000円
副議長	223,000円
議員	214,000円

八郎潟町 芸術文化協会より顕彰

八中 宮田明日香さん
八小 遠藤 陸季さん
小柳 奈都さん
が受賞

八郎潟町芸術文化協会(会長 安田隆一)では2月29日に八郎潟中学校、3月21日には八郎潟小学校で芸術文化協会顕彰が行われました。

八郎潟中学校からは、宮田明日香さん(現2年生)、八郎潟小学校からは遠藤陸季さん(現4年生)と小柳奈都さんが(現2年生)が受賞しました。

この顕彰は、平成19年度からのもので、本町における芸術文化の振興発展を図るため、「芸術文化章」(協会加盟団体及び所属する会員を顕彰)と「学芸文化章」(本町の小学生及び中学生を顕彰)が設けられました。

学芸文化章

○宮田明日香(八中2年 第29回少年の主張秋田県大会「わたしの主張2007」優秀賞)

○遠藤 陸季(八小4年 第19回MOA美術館秋田児童作品展秋田教育委員会教育長賞)

○小柳 奈都(八小2年 第19回読書感想画中央(全国)コンクール奨励賞)

ひびきわくわくコンサート

八郎潟中央児童館にて わらび座による和楽器ライブ



3月22日、八郎潟中央児童館にてわらび座による和楽器ライブが開催され、子供から大人まで約70人が参加しました。

よる児童巡回事業の一環として、本町へ打診があり、八郎潟中央児童館での公演が実現しました。

ライブでは、わらび座のメンバー5人が華やかな角館の飾山囃子や誰もが知っている童謡などの和楽器等(篠笛、尺八、和太鼓、チャップパ、フルート、バイオリン、ケーナ)のメドレーが行われ、迫力満点の太鼓や踊りまで「和」の魅力がぎゅっと詰まったライブが盛大に行われました。



渡部秀彦さん 消防庁長官より表彰



前本部分団長 渡部 秀彦さん

渡部さんは、昭和50年に八郎潟町消防団員となり、以来33年間にわたり消防団員として職務に精励され、平成16年4月から本部分団長として活躍されました。

永年にわたり消防人として、地域社会への防火思想の普及、消防施設の整備などへの積極的な取り組みが評価され、このたびの受賞となりました。(3月31日付退団)

3月26日、秋田県庁第2庁舎で開催された平成19年度消防功労者表彰式において渡部秀彦さんが消防庁長官表彰を受けられました。

八郎潟町役場の組織機構を統合 4月1日より スリム化しました

八郎潟町役場の機構改革は、平成18年度に大幅な機構改革を行いました。このたびは現在の4課14班体制を見直し、4課6班体制としました。課名の変更はありませんが、各課の班を統合し組織機構をスリム化し、班内の連絡体制のPWAアップを図り町民ニーズに対応してまいりたいと考えております。

このたびの組織変更は、総務課は総務班と企画財政班を統合し総務班とし、税務班と会計班を統合し税務会計班としました。また、町民福祉課は町民生活班を現在どおりとし、福祉介護班と保健医療班を統合し福祉介護班としました。

さらに、産業建設課は産業振興班を現在どおりとし、建設班と上水道班、下水道班を統合し建設水道班としました。教育課は学校教育班、生涯教育班、国体班を廃止し一本化しました。このたび、産業建設課に商工業の活性化のため職員を増員、教育課へも社会教育、公民館活動等の活発化するため職員を増員しました。

新体制は4月1日から実施しますので、町民の皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いします。

総務課

- ◎会計管理者兼総務課税務会計班長
(会計管理者・主幹兼会計班長) 石井 連一
- 総務班
・総務課主幹総務班長 三戸 義雄
(総務課主幹企画財政班長) 渡部 郁子
・総務課係長総務班 渡部 郁子
(町民福祉課係長町民生活班)

- 福祉介護班
・町民福祉課主幹福祉介護班長 伊藤 則彦
(町民福祉課課長補佐保健医療班)

- ・総務課係長総務班 齊藤 嘉生
(総務課係長企画財政班)
- ・総務課主任総務班 松田 正紀
(総務課主任企画財政班)
- ・総務課主任総務班 渡部祐一郎
(総務課主任企画財政班)
- ・総務課主任総務班 伊藤 朱鹿
(総務課主任総務班)

- 税務会計班
・総務課主幹税務会計班 島山 博光
(総務課主幹会計班)
- ・総務課課長補佐税務会計班 渡部 博英
(総務課係長税務班)
- ・総務課係長税務会計班 千田 浩美
(総務課係長会計班)
- ・総務課係長税務会計班 村井 秀竹
(総務課係長税務班)
- ・総務課係長税務会計班 島山 孝直
(総務課主任税務班)
- ・総務課主任税務会計班 工藤 洋平
(総務課主任税務班)

町民福祉課

- ◎町民福祉課長 千田 清

- 町民生活班
・町民福祉課主幹町民生活班長 草階 清巳
(教育課課長補佐学校教育班)
- ・町民福祉課係長町民生活班 渡部美喜子
(町民福祉課主任町民生活班)
- ・町民福祉課主幹町民生活班 伊藤 洋平
(総務課主幹総務班)

- 福祉介護班
・町民福祉課主幹福祉介護班長 伊藤 則彦
(町民福祉課課長補佐保健医療班)

- ・町民福祉課課長補佐福祉介護班 伊藤 則彦
(町民福祉課課長補佐保健医療班)

- ・町民福祉課課長補佐福祉介護班 千田 貞子
(町民福祉課課長補佐福祉介護班)
- ・町民福祉課課長補佐福祉介護班 青柳 恵子
(町民福祉課課長補佐保健医療班)
- ・町民福祉課係長福祉介護班 土橋テツ子
(町民福祉課係長保健医療班)
- ・町民福祉課係長福祉介護班 洪合 貴子
(町民福祉課主任保健医療班)
- ・町民福祉課係長福祉介護班 渡部 幸喜
(産業建設課係長産業振興班)

産業建設課

- 産業振興班
・産業建設課主幹産業振興班長 石井 清人
(産業建設課課長補佐産業振興班)
- ・産業建設課課長補佐産業振興班 渡部 広保
(農業委員会)
- ・町民福祉課課長補佐町民生活班 加藤 貞憲
(産業建設課係長産業振興班)

- 建設水道班
・産業建設課主幹建設水道班長 土橋 駒喜
(産業建設課課長補佐建設班)
- ・産業建設課課長補佐建設水道班 北嶋 亮平
(産業建設課課長補佐建設水道班)
- ・産業建設課課長補佐建設水道班 吉田 久壽
(産業建設課課長補佐建設班)
- ・産業建設課課長補佐建設水道班 小野 良幸
(町民福祉課係長福祉介護班)
- ・産業建設課課長補佐建設水道班 伊藤 康文
(産業建設課係長建設水道班)
- ・産業建設課係長建設水道班 加藤 恒貴
(産業建設課係長上下水道班)

- ・産業建設課係長建設水道班 加藤 恒貴
(産業建設課係長上下水道班)

- ・産業建設課係長建設水道班 小玉 英子
(産業建設課主任建設班)
- ・産業建設課主任建設水道班 一ノ関朝幸
(産業建設課主事上下水道班)

教育課

- ◎教育課長 佐藤 俊
(町民福祉課長)
- ・教育課課長補佐(社会教育) 田中 敏裕
(産業建設課課長補佐上下水道班)
- ・教育課課長補佐(社会教育) 小柳 鉄秀
(教育課係長生涯学習班)
- ・教育課主任(社会教育) 伊藤 禎倫
(教育課主任国体班)
- ・教育課課長補佐(社会体育) 鳴海 一元
(教育課係長国体班)
- ・教育課係長(社会体育) 加藤 宏
(産業建設課係長上下水道班)
- ・教育課係長(学校教育) 千田 成子
(教育課係長国体班)
- ・教育課係長(学校教育) 村井 健一
(教育課係長学校教育班)
- ・教育課主幹幼稚園教頭 草階トヨ子
(教育課課長補佐幼稚園教頭)

採用

- ・産業建設課主事産業振興班 安田真一郎

退職(3月31日付)

- ・教育課長 藤井 栄
- ・総務課主幹 小野 美和
- ・教育課主幹 島山 政子

八郎潟小・中学校 教職員人事異動

3月25日、県教育委員会では教職員の人事異動を発表しました。4月1日付の異動です。本町の小・中学校関係の人事異動は次のとおりです。

◆八郎潟小学校

- (転出)
教頭 江畑千鶴子 脇本第一小
教諭 赤田富貴子 泉小
教諭 渡邊 慶満 船川第一小
教諭 桐生さとみ 磯代市第四小
主査 佐藤 智美 港北小
栄養士 北嶋まゆみ 五城目第一中
- (退職)
養護教諭 伊藤 栄子
- (転入)
教頭 佐藤 貞男 馬場目小
教諭 石井 公孝 金岡小
教諭 和田久美子 金足西小
教諭 渡邊 寛 内川小
教諭 川上 敦子 鶴木小
養護教諭 成田 祥子 湖北小
主任主査 島山 正人 男鹿南中
栄養士 長澤 香 新採用
講師 菊地 宗一

◆八郎潟中学校

- (転出)
教諭 相馬 仁 県教委
- (退職)
校長 江島 廣
事務長 齊藤久治郎
- (転入)
校長 工藤 均 教育センター
教諭 石塚 博子 東雲中
教諭 小玉 正範 弘戸中
主任主査 高垣 浩男 下川大内小

かけ足運動・読書感想文コンクール 合同表彰式



2月27日、町農村環境改善センターにおいてかけ足運動・読書感想文コンクール合同表彰式が開催されました。

昨年1年間に、かけ足運動に参加した方は293名おり、その中で300日以上を達成した上級者19名、180日以上達成した初級者5名が表彰され、町長からメダルが贈呈されました。

読書感想文コンクールは、小・中学生が冬休み期間中に書き上げた作品、総数363編の作品の中から、厳正な審査の結果、次のとおり入選作品が決定しました。

なお、読書感想文コンクールにおいて第一席に輝いた作品を今月号から4回にわたり紹介いたします。



※()内の学年は、受賞当時のものです。
《敬称略》

☆上級者 (300日以上)

- 土橋 奏珠 (小学5年)
- 佐藤 海智 (小学5年)
- 小野 梨史 (小学4年)
- 館岡 亮太 (小学2年)
- 館岡 賢太 (小学1年)
- 谷川 晃大 (小学1年)
- 土橋 励珠 (6歳)
- 小柳 昂世 (5歳)
- 谷川 未采 (4歳)
- 伊藤 瑠奈 (年中)
- 伊藤 ヤス (一般)
- 三戸 留吉 (一般)
- 館岡 司 (一般)
- 小柳 洋樹 (一般)
- 小柳 傳治 (一般)
- 小野 憲一 (一般)
- 北嶋 久雄 (一般)
- 北嶋 勝悦 (一般)
- 渡部 和男 (一般)

☆初級者 (180日以上)

- 渡部 祥帆 (小学3年)
- 小野 華 (小学2年)
- 渡部 創 (小学1年)
- 渡部 智 (5歳)
- 渡部 雅喜 (一般)

第31回

読書感想文コンクール入選作品 (応募総数363編)

※()内の学年は、受賞当時のものです。《敬称略》

☆小学生低学年の部 (応募数25編)

- ・第一席 ささ木 ゆいか (1年)
- ・第二席 おの はな (2年)
- ・第三席 森川 航太 (1年)
- ・「八郎」を読んで
- ・佳作 ちだ けいすけ (2年)
- ・のぐち ひでよ を読んで
- ・佳作 工藤 柚香 (2年)
- ・「おばあさんはいつ空をとぶの」を読んで
- ・佳作 たに川 こう大 (1年)
- ・がまくんとかえるくん

☆小学校高学年の部 (応募数114編)

- ・第一席 遠藤 寛果 (6年)
- ・明日はもつとできるよになると信じて
- ・第二席 山田 柚子 (6年)
- ・「生きている事は当たり前じゃない」
- ・第三席 小野 成幸 (5年)
- ・ヘレンケラーを知っていますか
- ・佳作 北嶋 孝祐 (5年)
- ・科学と先祖と地球
- ・佳作 藤井 凜太郎 (5年)
- ・教室はまちがうところ

☆小学生中学年の部 (応募数93編)

- ・第一席 遠藤 睦季 (3年)
- ・心も元気で体も元気な町がいいなあ
- ・第二席 和田 優成 (4年)
- ・いのちのおはなし
- ・第三席 相馬 あいり (4年)
- ・ベートーベンからもらった勇氣
- ・佳作 齊藤 香帆 (4年)
- ・「ペットはぼくの家族」を読んで
- ・佳作 石井 教介 (3年)
- ・セロひきのゴージュ
- ・佳作 藤井 満朗 (3年)
- ・「わたしのいもうと」を読んで

☆中学生の部 (応募数131編)

- ・第一席 小 千絵佳 (2年)
- ・「明日を信じて、今日を生きて。」
- ・第二席 相馬 実歩 (2年)
- ・自分らしく
- ・第三席 一ノ関 麻結 (1年)
- ・心から心へ伝わる思い
- ・佳作 濱野 夏実 (2年)
- ・「世界のお母さん」マザー・テレサ
- ・佳作 菊地 愛惟 (1年)
- ・自分らしく
- ・佳作 安田 優奈 (1年)
- ・ハリーが教えてくれたこと

読書感想文コンクール ①

中学生の部 第一席



「明日を信じて、 今日を生きて。」

八中2年生(現八中3年生)
小柳 千絵佳さん

毎朝目覚める。一日が始まる。学校へ行く。友達と笑い、授業を受けて部活をする。疲れて家に帰り、食事したりテレビを見たり、家族と過ごし宿題をして、入浴をすませて眠りにつく。日に何度かは兄妹とけんかをした。親に口ごたえてみたり。少しはそんな自分に反省したりするけれど、「明日には普通になつてから、まあいいか。」なんて思いながらその日を過ごす。今日できずにいた事も、「明日やるからいいや。」って、当然の様に考えている。明日という日が、私には当たり前前のように来ると信じているからなのだ。

来ると思えるのだろう。必ず来るといふ強い約束はないのに。この世に命を持つ全てには必ず終わりはある。そしてその終わりは誰にもわからないはずなのだ。命の終わりを三年前に私はこの目で見ていた。祖父である入院していた時、お見舞いに行つた。昔の力強いおもかげは消えていたけれど、あの優しい笑顔は変わる事はなかった。退院し自宅へ戻つた時のお正月も例年の様に温かく私達をむかえてくれると信じていた。でも、その思いもかなう事なく、その年の十一月、祖父は天国へと旅立つた。突然の出来事だつた。

「最後までとわかつていたなら。」まさに本の題名の通りである。そして自分の行動が少し悔やまれた。なぜもつと会いに行つてあげなかったのだろうか。なぜ、たくさんの言葉をかけてあげなかったのだろうか。最後だとわかつていたなら、私のするべき事、したかった事を終わるその時まで伝えられたのに。

明日という日は必ずしも地球上全て命あるものに来るとは限らないのだ。この本に「アメリカの同時多発テロの後に世界中に配信されたもの」と書かれているように、誰にでも起こり得る事なのである。このニュースを知つたのはまだ私が小学校低学年で、単に怖い事としか記憶にはなく、他人事の様に感じていた。祖父の死をきっかけに、過去の番組の特集で改めてテロのニュースを目にして、命の尊さを考えさせられたはずだが、日々の生活を送る事でその気持ちさえ忘れかけていた。だからこの本に出会って、忘れていたあの頃の気持ちを思い出したのだ。

夜になり星や月の明かりに気にも止めず、朝が来て朝日が照らす事の大切さをなぜ私は忘れていたのだろうか。友達とケンカをしても「明日あやまれればいいや。」贈り物をもらつても「明日、お礼を言えばいいか。」なんて、明日を当然の様に信じているから考える事なのだ。そんな根拠なんて、どこにもないはずなのに。大切な人、愛する人を突然失つた人の悲しみのニュースは日に何度となく目にする。本当の心の深い悲しみはきつと大切な人の明日を信じ、そしてその明日が何の前ぶれもなくとだえた事を思い知らされた人でなければわからないだろう。でも一度でいい。みんなにも考えて欲しい。大切な人が、今日で最後だと知つたらどう思うのかを。

私はこの本の詩に出会えた事に感謝した。忘れていた明日の大切さ、明日のために今日を一生懸命生きるという事を気付かせてくれた事に。人には言葉と言うすばらしいものがある。言葉は口に出さなくては伝わらないし、だからこそその言葉の大切さや重みをしつかりと感じ、大切な人達へ今日という日の中に伝える事を忘れずに生きて行こうと思う。出来るはずの事をせう後悔するより、出来る限りの事をして、思いを伝える事で日々生きて行けるなら、それはきつと自分自身も自分の命の大切さと、大事な人への優しさとなり、人間らしく生きて行けるはずだから。



川柳

・長寿謝し大統つとめて
未寿です 草風

・今日の晴夫と匂会の
足軽し 志津江

・ただいまと帰る声聞く
老の幸 秋遊

・楽しみは他人の噂と
ガッコ茶コ 大観

・鉢の花安心だよと
冬の部屋 迂人

・起伏重畳越したしがらみ
今恋うる 無一

・春風を呼べばロマシの
匂する 梅香

ご卒園・ご卒業 おめでとう ございます!!

3月7日に八郎潟中学校卒業式、14日に八郎潟幼稚園卒園式、18日に八郎潟小学校卒業式がそれぞれ行われ、卒業生、卒園生のみなさんは、保護者の皆さんが見守る中、慣れ親しんだ学舎を巣立って行きました。



3・7
八郎潟中学校60名



3・14
八郎潟幼稚園43名



3・18
八郎潟小学校58名





平成20年度から
基本健診が変わります



これまで町が実施していた「基本健診」について、40～74歳までの方の健診の名称が「特定健診」に変わります。
実施主体はそれぞれの加入している医療保険者です。
(実施主体である医療保険者は実施責任者となり、委託健診料金・特定保健指導料金等は医療保険者から支払われます。健診の自己負担費用はそれぞれの保険者により異なります。)

30～39歳と75歳以上の健診は従来どおり「基本健診」の名称で実施します。

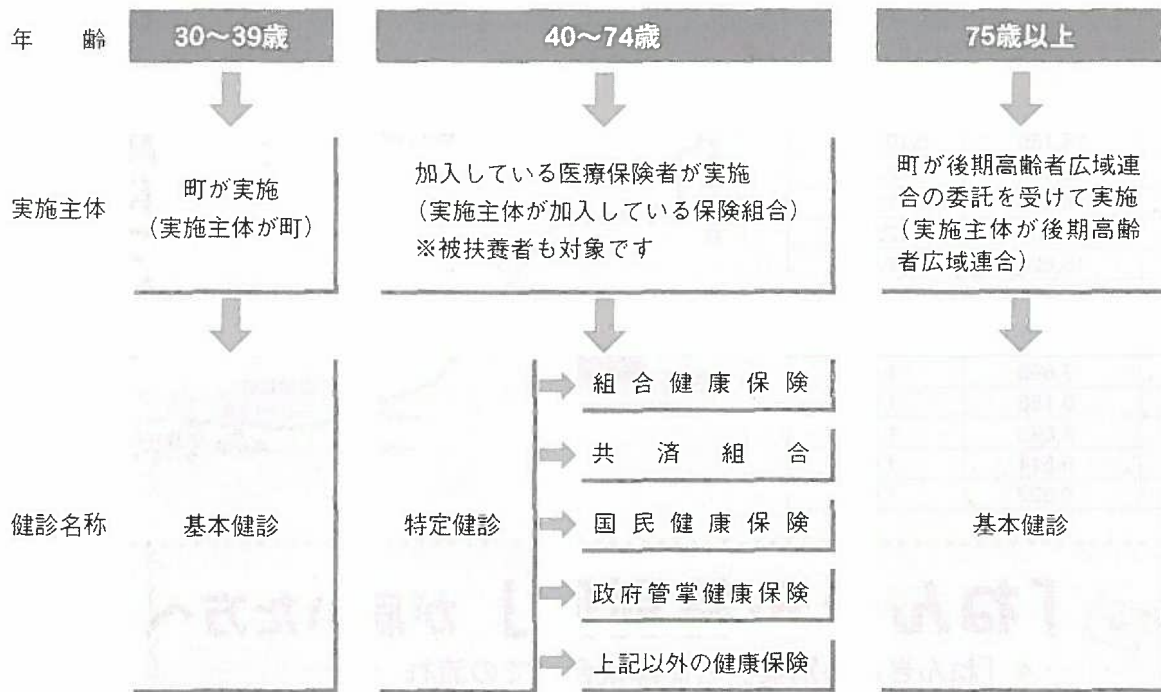
八郎湯町国保に加入している40～74歳の方の特定健診と30～39歳・75歳以上の方の基本健診は結核検診、がん検診、骨粗鬆症、肝炎検診の集団検診時に同時に実施します。

国保以外の医療保険に加入している40～74歳の方は、それぞれの医療保険者からのお知らせで確認してください。

※ただし、国保以外の医療保険の加入者・被扶養者は各医療保険者からの依頼により、町の集団検診時に受診できません。町国保以外で受診を希望される方は事前に保健センターへ申し出てください。

今年の集団検診は6月17日(火)から27日(金)までの8日間で行われます。4月下旬～5月上旬までに集団健診の申込みをとりまします。

※がん検診・骨粗鬆症・肝炎検診は町が実施します。



4月の保健衛生事業

日・曜日	事業名	対象者	場所	時間
11日(金)	妊婦相談 母子手帳発行	母子手帳の 必要な妊婦	保健センター	午前8時30分～ 11時30分
14日(月)	ポリオ 生ワクチン投与	生後3ヵ月 ～90ヵ月児	保健センター	午後1時30分～ 2時
21日(月)	1歳6ヵ月 健康診査	平成18年7月生 平成18年8月生 平成18年9月生	保健センター	午後1時～ 1時30分受付
22日(火)	乳児健康診査	平成19年5月生 平成19年8月生 平成19年12月生	保健センター	午後1時～ 1時30分受付
22日(火)	B C G 接種	平成19年 12月生	保健センター	午後0時30分～ 1時15分受付
25日(金)	保健委員会 研修会	各地区の 保健委員	保健センター	午後7時～9時

麻しん・風しん予防接種について

平成20年4月1日より麻しん・風しん混合ワクチン予防接種の対象が変わります。従来の対象の満1歳児・小学校就学前年(年長児)の子供達の他、中学1年生・高校3年生年齢相当の方が新たな対象となります。接種の方法など詳細については対象の方に後日通知しますので、忘れずに接種しましょう。

問い合わせ先 町保健センター ☎875-2800

からだにいい講演会のお知らせ

日時 4月25日(金) 午後7時～8時20分

会場 町保健センター

内容 講話

どなたでも参加
できます

「今、話題のメタボのおはなし
～特定健診・特定保健指導で健康になる!～」
講師：中通総合病院診療部長 松田 惇 氏



国民健康保険者別医療費と町の医療費状況

国保医療費(平成20年1月分) (単位:円)

1人当たり医療費	一般分	退職分	老人分	全体(平均)
八郎湯町	22,973	31,399	78,038	39,689
医療圏内 (南秋・秋田・男鹿・河辺)	21,894	34,419	72,538	38,405
秋田県	20,773	31,652	63,084	34,640

平成20年9月末
生活バス路線『大潟線』の
廃止予定について

バス事業者である秋田中央交通（株）のもと、昭和48年から運行が継続されてきた『大潟線』（大潟村保養センター～八郎潟駅～五城目バスターミナル）でしたが、このたび事業者側より路線廃止の申入れがあり、平成20年9月末をもって廃止となる予定です。

大潟線は、これまで秋田県生活バス路線維持費補助制度に基づき、経常損益分については県及び運行区間内の町村の補助金のほか事業者の負担によって補填され、現在まで運行が継続されてきました。

しかし、近年の自家用車の普及や人口減少に伴い利用者も減少し、現状の利用実態に合わせた事業計画のもとで運行を継続しても収支の改善は厳しく、経常損益も莫大になっておりました。

このような現状のもとで当該路線を継続させていくためには、本町においても多額の補助金を要するため、関係町村との協議も十分考慮したうえで廃止をやむを得ないものと認め、このたびの廃止申入れに対して同意致しました。

永年利用されてきた路線が廃止予定となり、地域住民の皆様には非常に迷惑をおかけしますが、何卒ご理解の程宜しくお願い申し上げます。

大潟線：近年の実績

① 輸送量 (単位：人)

年度	定期人	その他	合計
14	1,290	11,603	12,893
15	900	7,408	8,308
16	1,560	7,261	8,821
17	630	5,784	6,414
18	1,144	5,856	7,000

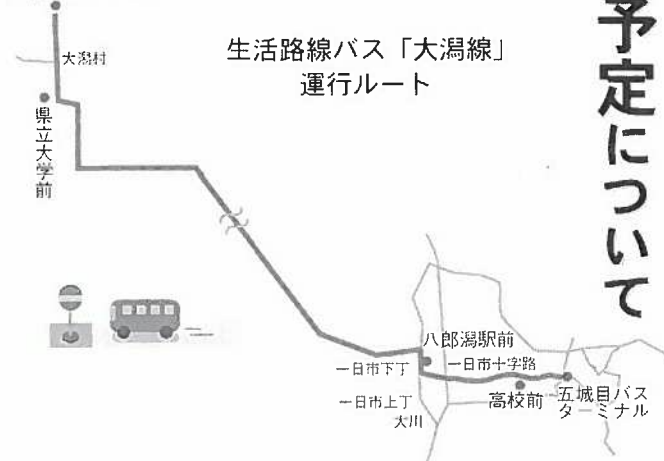
② 経営状況 (単位：千円)

年度	経常収益	経常費用	経常損益
14	4,653	15,180	△10,527
15	3,273	15,497	△12,224
16	3,094	14,689	△11,595
17	2,433	15,408	△12,975
18	2,670	15,628	△12,958

③ 経常損益に対する負担額 (単位：千円)

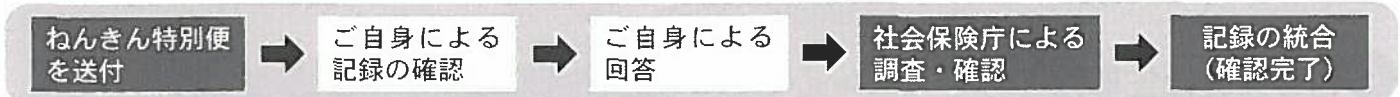
年度	事業者負担額	県及び町村補助額計	左のうち本町補助額
14	2,634	7,893	1,098
15	3,058	9,166	1,593
16	2,899	8,696	1,508
17	3,461	9,514	1,650
18	3,336	9,622	1,669

大潟村保養センター前



「ねんきん特別便」が届いた方へ

◆「ねんきん特別便」と記録統合までの流れ◆



◎記録が結びつく可能性がある方
平成20年3月までを目処に送付

◎その他の方
平成20年4月から10月までを目処に送付

注意！※お手続きをいただかないと、記録は統合できません。

- ・訂正がない場合：「確認はがき」を郵送
- ・訂正がある場合：年金記録照会票に記入して手続き

加入記録を十分に
ご確認ください

名寄せ作業の結果については、別の方の記録である可能性もありますので、お送りする「年金記録のお知らせ」には記載しておらず、基礎年金番号と結びつけている記録だけが記載されています。お勤め先などの欄に記載もれないか、また資格取得年月日・資格喪失年月日の誤りがないかなどを十分にご確認ください。

訂正がない場合

同封の「年金加入記録照会票」から「確認はがき」を切り取って「訂正がない」を○で囲み、提出年月日、氏名をご記入の上、返送してください。

訂正がある場合

同封の「年金加入記録照会票」に必要事項をご記入いただき、「確認はがき」を切り取らず「訂正がある」を○で囲み、右記の手続きを行ってください。

【年金受給者の方】

- 「年金加入記録照会票」に年金証書を添えて秋田社会保険事務所でお手続きください。
- 社会保険事務所へ来所できない場合は、下記の「ねんきん特別便専用ダイヤル」へご連絡ください。（郵送による手続き方法等をご案内します。）「ねんきん特別便専用ダイヤル ☎03-6700-1144」

【現役加入者の方】

- 「年金加入記録照会票」を同封の返信用封筒で返送してください。

※特に昨年12月から本年3月までに「ねんきん特別便」が届いた方については、記録が結びつく可能性が高いため、必ずご回答いただきますようお願いいたします。

随想録 31

「切磋琢磨」



町長 土橋多喜夫



人間は、どなたでも自分を今以上に、人格や学問を磨くことを心掛けることと思います。

「切」とは、象牙や骨を細工するときの切ること。

「磋」とは、削ること。

「琢」とは、玉や石を加工するとき、叩くこと。

「磨」とは、磨くことです。この四字句のもともとの意味はそもそも自分で自分を磨くということのようでしたが、それがなぜ相手が必要とするようになったかと申しますと、切・磋・琢・磨の四字とも、道具や台を必要とするため、相手を考えるようになったのではないのでしょうか。

むろん自分を磨く場合、一人で磨くよりも、仲間、同志等、相手がいて競い合い、お互いに励まし合って磨くほうがはるかに効果的であります。ところが、現代の若い世代ではそれを受け入れるのに若干の抵抗があるようです。

なんでもいから自分なりの目標を立てたら、同じ研究を志している仲間に呼びかけて勉強会でも開いてみるのもよい事ですが、自分個人でも出来る事ではないでしょうか。

道徳・学問などに勉め励むことは、極めて至難なことです。でも、個人でも心掛け次第で自分なりに刻苦勉強に努めることは可能だと思います。

私の考えを申しますと、私はこの二月で数え年八十歳を迎えました。「老感」は全然なく、まだまだこれからです。人間には完成はないと思います。私は未完成であることを意識しながら有意義な生涯を送りたいと思っています。

偽善者にはなりたくなくてそういう人を軽蔑しています。自分に正直に自分に納得できる日々を送りたい。自分なりに学びの目標を立て努力して参りたい。

(絵 安田敏雄)

駐在所だより



八郎湯駐在所 ☎875-2045
真坂駐在所 ☎875-2550

新入学(園)児を交通事故から守りましょう

4月は入学、入園の季節です。真新しいランドセルを背負って、仲良く登校する姿はとても微笑ましいものです。

しかし、この時期の新入学(園)児は、交通ルールの知識に乏しいことや、環境の変化に対する緊張感や徒歩通学の不慣れなどから衝動的な行動に走りやすく、自らの身を守ることに十分とは言えません。

家庭、学校、地域においても、交通ルールについて体験を通して教え、子どもを悲惨な交通事故から守りましょう。

子どもや高齢者の交通事故は、歩行中の直前横断や飛び出し、自転車乗車時の安全不確認、一時不停止等によるものが多く発生しています。

歩行者は、薄暮時や夜間には、運転者から発見されやすいような目立つ色の服装と、靴や持ち物等に反射材を貼って外出し、自転車乗車時は早めにライトを点灯し、前後や横からも見えるよう反射材を

活用しましょう。

ドライバーの方は、横断しようとしている子どもや高齢者を見かけたときは一旦停止し、道を譲るなど思いやりある運転に心がけましょう。

また、ライトは早めに点灯し、夜間は前車や対向車がない時はライトを上向きにして歩行者や自転車を早めに発見しましょう。

春の

交通安全運動

4月6日(日)から
4月15日(火)

- ・《運動の基本》
- ・子どもと高齢者の交通事故防止

《運動の重点》

- ・全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ・自転車の安全利用の推進
- ・飲酒運転の根絶

※期間中、県警では、交通安全教育、保護誘導、交通取締り等の街頭活動を強化することにしています。

平成20年

飲酒運転追放等の競争実施中

八郎湯町の順位 (2月末)

全 県 (25市町村中) 1月末1位→2月末1位
男鹿・潟上・南秋 (6市町村中) 1月末1位→2月末1位

区分	酒酔い	酒気帯び	事故件数		計	前年同期順位	順位
			負傷	死亡			
2月中	0	0	0	0			
2月までの累計	0	0	0	0	0	1	1

※飲酒運転による違反(酒酔い・酒気帯び)は1件1点
飲酒運転による事故の負傷は1件3点、死亡は8点。
その他死亡事故は1件3点で換算しています。

情報プラザ

2人の出会いを大切にする 「結婚アドバイザー」を募集します

- ◎活動内容 結婚に関する相談・紹介活動など
- ◎募集人員 10名程度
(自薦他薦問いませんが、他薦の場合は本人の同意が必要です。)
- ◎任期 1年間
- ◎応募資格
 1. 町内に住所を有している方
 2. 結婚問題に熱意と関心があり、ボランティアとして活動できる方
 3. 知り得た個人情報を守守できる方

- ◎応募方法 福祉介護班窓口備え付けの応募用紙に必要事項を記入のうえ、提出してください。
(応募用紙は町ホームページからもダウンロードできます)
- ◎応募締切 平成20年4月30日(水)
※応募結果につきましては、全員に通知いたします。

■問い合わせ先 町民福祉課福祉介護班 ☎875-5808

あなたの経験・技能を活かしませんか

八郎瀧町シルバー人材センターでは会員を募集しております。特殊な資格・免許がなくてもかまいません。
・60歳以上の健康で働く意欲のある方
・八郎瀧町シルバー人材センターの趣旨に賛同した方
・定められた会費を納入する方
これらを満たした方が会員になることができます。
※詳しいことをお知りになりたい方は、事務局までご連絡ください。

■申込み・問い合わせ先
八郎瀧町シルバー人材センター
☎875-5411

し尿汲み取り料金 引き上げ改定のお知らせ

八郎瀧町・井川町衛生処理施設組合の施設使用料(し尿の搬入量)が下水道の普及に伴い年々減少しており、両町で負担している施設維持管理費も年々増加しております。これらのことから、受益者の皆様から負担していただく汲み取り料金を4月1日から次のとおり引き上げすることとなりましたので、ご理解くださいますようお願いいたします。

1リットルあたりの汲み取り料金
改定前料金7円 → 改定後料金10円

◎汲み取りの依頼業者
・八郎瀧衛生社 ☎875-3227
・鎌田興業 ☎875-2039

固定資産税土地・家屋価格等縦覧帳簿をお見せします

平成20年度固定資産税の基礎となる固定資産評価額を、縦覧帳簿によりお見せします。
自己所有の土地や家屋の固定資産の価格などを次の期間内にご覧ください。

◎日時 4月1日～6月2日
午前8時30分～午後5時
※土、日、祝祭日は除きます。
◎場所 役場総務課税務会計班

■問い合わせ先 役場総務課税務会計班 ☎875-5807

転入・転出届はお済みですか？

3月・4月は卒業、進学、就職等で住所を移される方がもっとも多いときです。住所は実際住んでいるところに置くのが原則となっていますので、転入・転出・転居の届出はお忘れなく！



転入・転出の際は本人確認を行いますので、窓口へ手続きに来る方は免許証・パスポート・住基カード等、本人だと確認できるものをご持参ください。

なお、印鑑登録・印鑑証明書の発行は住所地で行いますので、転入・転出により住所が変わった方は新住所地で印鑑登録の手続きをしてください。(印鑑登録は本人でなければなりません。)

詳しいことについては役場町民生活課町民生活班(☎875-5805)へおたずねください。

電話番号 メールアドレス



変更のお知らせ

役場機構改革による班の統廃合により、4月1日から役場直通の電話番号及びメールアドレスが次のとおりとなりましたのでお知らせいたします。

役場直通電話番号・メールアドレス

役場代表	☎875-5800
◆総務課	
●総務班	☎875-5801 5802 soumu@town.hachirogata.lg.jp
●税務会計班	☎875-5804 5807 zeimu@town.hachirogata.lg.jp
◆町民福祉課	
●町民生活班	☎875-5805 5806 tyoumin@town.hachirogata.lg.jp
●福祉介護班	☎875-5808 5813 fukushi@town.hachirogata.lg.jp
◆産業建設課	
●産業振興班	☎875-5803 sangyou@town.hachirogata.lg.jp
●建設水道班	☎875-5809 5811 kensetsu@town.hachirogata.lg.jp
◆教育課	☎875-5812 kyouiku@town.hachirogata.lg.jp
◆幼稚園	☎875-2734 youchien@town.hachirogata.lg.jp
◆議会事務局	☎875-5810 gikai@town.hachirogata.lg.jp
◆保健センター	☎875-2800 hokensenta@town.hachirogata.lg.jp
◆地域包括支援センター(保健センター内)	☎875-2800 houkatu@town.hachirogata.lg.jp
◆オリンピック記念会館	☎875-5500 shatai@town.hachirogata.lg.jp
◆農村環境改善センター(公民館)	☎875-5777 kouminkan@town.hachirogata.lg.jp

戸籍だより

(2月届出分)

◎ご結婚おめでとう

2・23 (鎌田 康資) 東京都
(松橋 瞳) 東京都

◎ご冥福をお祈りします

2・1 北嶋 サキ(86歳) 18区
2・2 小林源治郎(76歳) 11区
2・4 小玉ハルエ(87歳) 1区
2・9 伊藤 鎮雄(72歳) 13区
2・12 加賀谷與市(79歳) 10区
2・12 金 フヂエ(93歳) 19区
2・13 伊藤 ヨネ(81歳) 19区
2・17 土橋 鐵郎(73歳) 8区
2・17 伊藤 光夫(78歳) 26区
2・21 小野 タミ(92歳) 2区
2・21 後藤 由雄(84歳) 32区
2・24 齋藤 守(37歳) 33区
2・25 工藤ミチヲ(85歳) 15区

町のミニ統計(2月末現在)

◇人口

当月 先月比 昨年比
男 3,254人(-10人)(-65人)
女 3,722人(-13人)(-87人)
計 6,976人(-23人)(-152人)

◇世帯数

2,475戸(0戸)(-7戸)
※住民基本台帳

◇出生 0人(2人)[16人]

◇結婚 1組(1組)[2組]

◇死亡 13人(20人)[16人]

※()は1月からの累計、
[]は昨年同時期の累計

◇交通事故件数

物損事故 6件(17件)[16件]

人身事故 1件(2件)[4件]

※()は1月からの累計、
[]は昨年同時期の累計

入札の結果

3/18

◆八郎潟町高度浄水処理施設整備工事

・八郎潟町字上昼根地内
・水道機工(株)
・458,640,000円
・H20・3・25~8・29

※3月25日、八郎潟町議会第3回臨時会が開催され、議会にて否決となったため契約は行われませんでした。

ホームヘルパー2級 養成研修講座受講生募集

◎対象

全課程の受講が可能な方。資格を取得し、福祉の職場に就労を希望したい方。ボランティアとしての活動を希望する方。高齢者を抱えて知識を必要としている方。満60歳未満の方。

◎募集人員

60人(定員になり次第締切)

◎研修日程

5月12日(月)~9月26日(金)

◎研修会場

医療法人正和会 会議室

◎受講料

35,000円(他に教材費7,000円)

◎その他

医療法人正和会の新規事業において、職員を採用する場合には、この研修を修了し、適任とされたものに応募の機会を提供します。

■申込み及び問い合わせ先

医療法人正和会 担当 柴田
☎877-7110

「ふれあい農園」の利用者募集について

町では、農業に関心がありながら、農地のない方のために、次の条件により「ふれあい農園」の利用者を募集します。場所はB&Gプールの西側です。



《利用条件》

◎募集区画

1区画(1区画10m~11m)

◎利用料金 1区画 3,000円

◎利用期間

平成20年4月~平成21年3月

◎水道使用料 別途請求します

◎申込期限 4月18日(金)

■問い合わせ先

役場産業建設課産業振興班
☎875-5803

4月行事予定表・秋田朝日放送CM放送日

日	月	火	水	木	金	土
		1 CM放送 午後3:00頃	2 CM放送 午後1:20頃	3 CM放送 午前10:00頃	4 幼・小・中始業式 CM放送 午前10:30頃	5 CM放送 午後7:00頃
6 駆付訓練 春の火災予防 運動(~12日)	7 小・中学校入学式 CM放送 午後2:50頃	8 幼稚園入園式 CM放送 午前5:50頃	9 CM放送 午前5:50頃	10 CM放送 午後2:55頃	11 CM放送 午後2:50頃	12
13 全町清掃デー CM放送 午前6:30頃	14 CM放送 午後1:05頃	15 CM放送 午後1:05頃	16 CM放送 午前10:00頃	17 粗大ごみ搬入日 (~23日) CM放送 午後1:20頃	18 CM放送 午後3:00頃	19 CM放送 午後7:30 ~7:54頃
20	21 CM放送 午後3:00頃	22 CM放送 午後3:00頃	23 町内会長会議 CM放送 午後2:50頃	24 CM放送 午前5:50頃	25 CM放送 午後1:20頃	26 スポーツ少年団 結団式
27	28 CM放送 午前10:30頃	29 CM放送 午前10:30頃	30 CM放送 午前10:30頃			

八郎潟町社会福祉協議会

八郎潟町善意銀行	3・11 香典返し(亡夫 鐵郎さん)様	2・28 善意 匿名希望	2・25 善意 匿名希望	2・21 香典返し(亡父 鎮雄さん)様	2・20 香典返し(亡父 與市さん)様
金	8区 土橋ヨシエ	金	金	金	金
20,000円	1,000円	3,000円	5,000円	3,000円	10区 加賀谷弘光様

◆預託状況

(平成20年3月18日現在)

善意

ふるさと散歩

No.243

湖畔の戦国時代

風雲の浦城 ⑨



三浦氏と湊合戦 ⑤

両軍が互いに入り乱れての激戦となったが、攻撃側の三浦一族の人数が多かった。それに不意を突かれた檜山側は、具足(武器鎧)を着けていない者も多く檜山方はしだいに押されていった。

敵軍から黒熊現れる



敵の武将「黒熊」

軍半ばのこと、城の中から六尺(一・八M)あまりの大男、髭逆さまに生え顔に憎悪の表情を露わにし、目の上に大きな瘤があり、鬼の持つような鉄棒をビューンビューンと振り回して現れた。人呼んで黒熊と言う。

この黒熊、群がる三浦群めがけて襲いかかり、力に任せて打って廻る。真つ向額・左右の小手・甲のてつべん・胴中・もろ臍あたる所をさいわいに、はらりはらりとなぎ伏せる。近づく者を十四、五人打ち倒し、大勢を四方へぱつと追い散らし、小高い所に駆け上り、暫く息をつき、「我、大高相模守殿より深きご恩を得ている百姓である。我と思わん人がいたら手並みを見せろ。」

と高らかに叫んだ。

攻め手の軍勢この声を聞き入れず。「土民の軍好みより、田畑を耕している、首を切られて妻子に悲しい思いをさせるよりも、引き下がれ。」と言ってみんなで笑った。しかしこの男に戦いを挑むものはいなかった。

ここに、攻撃側から黒熊だなんて言ってるが、たいしたことはなからう。「われは、小松作太郎。」と名乗って二尺八寸の太刀を振りかざし、黒熊に立ち向かった。黒熊これを見て「天晴れな若者だ。」と鉄棒を振りかざし、襲ってきた。作太郎は右へ廻り左へ廻り、すさまじい戦いは一時も続いた。何とした弾みか、作太郎は黒熊の打ち下ろした鉄棒を避けきれず、眉間を打たれて朝露と消えた。

次に長谷部隼人の嫡子隼人之助、太刀を抜き上段の構えから切りかかる。黒熊心得たりたりと鉄棒を振り廻し渡り合う。ここをせん



黒熊の使っている鉄棒



三浦盛永から伝わった刀「名刀次広」

どと火花を散らして激しく戦い続ける。隼人之助は真の武芸者であるので、黒熊が振り廻す鉄棒を蝶・蜻蛉のようにひらりひらりとかわしていたが、黒熊はもとより鉄棒使いの名人であるので、隼人之助は危うくなってきた。これを見ていた弟の隼友が加勢に入り、兄弟二人で黒熊に挑みかかった。武芸達人の二人に斬りかかられては、さしもの黒熊も小さく見えてきた。隼人之助隙を見て飛び上がり態打ち込むと、黒熊の左手がぼろりと地面へ転がり落ちた。ひるむ所を隼友すかさず黒熊の首をはねた。

黒熊の勇姿は天晴れ見事で、敵も味方も皆ほめたたえた。

【長谷部隼人、嫡子隼人之助、弟隼友は浦城の落城後も三浦兵庫守盛永の嫡子(幼名千代若、成人して三浦五郎盛季)が押切に築城した時も仕えていた。】

(千田軍記・秋田軍記より)
文・浦大町II北嶋 雄一

ふれあい

▼平成17年度から、担当してきました(1)と二緒に広報を、このたび、人事異動により広報から離れることとなりました。
学び舎を巣立っていった卒業生たちのように、新たな環境で、気持ちをお祈りいたします。(14)

*広報八郎潟 No.574

*発行/八郎潟町役場 編集/総務課

〒018-1692 秋田県南秋田郡八郎潟町字太道80

*018-8275-5800 0875-3096

*印刷/柳八郎潟印刷